

NEODOL 1

版番号 7.2

改訂日 2024. 10. 21

印刷日 2024. 10. 28

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : NEODOL 1

製品コード : V2705

別名 : C11 alcohol

CAS番号 : 112-42-5

化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号 : 2-217 (CAS: 112-42-5)

供給者情報

供給者の会社名称、住所及び電話番号 : SHELL EASTERN CHEMICALS (S)
A REGISTERED BUSINESS OF SHELL EASTERN
TRADING (PTE) LTD (UEN:198902087C)
9 North Buona Vista Drive , #07-01
The Metropolis Tower 1
Singapore 138588
Singapore

電話番号 : +65 6384 8269

FAX番号 : +65 6384 8454

SDSに関する問い合わせ先 :

緊急連絡電話番号 : +65 6542 9595 (Alert SGS)

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 洗剤製造に使用。

使用上の制限 : 本製品は、最初に製造元のアドバイスを求めることなく上記以外の用途に用いてはならない。

その他の情報 : NEODOL はShell Trademark Management B.V. 社及びShell Brands Inc. 社が所有するトレードマークであり、Royal Dutch Shell plc. 社の関連会社で使用されている。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

眼刺激性 : 区分2A

誤えん有害性 : 区分2

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分1

NEODOL 1

版番号 7.2

改訂日 2024. 10. 21

印刷日 2024. 10. 28

水生環境有害性 長期（慢性） : 区分2

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 物理化学的危険性 :
GHS分類基準では物理化学的危険性があるとは区分されません。
健康有害性 :
H319 強い眼刺激。
H305 飲み込んで気道に侵入すると有害のおそれ。
環境有害性 :
H400 水生生物に非常に強い毒性。
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

注意書き :

安全対策:

P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P273 環境への放出を避けること。

応急措置:

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
P301 + P310 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
P331 無理に吐かせないこと。
P391 漏出物を回収すること。

保管:

P405 施錠して保管すること。

廃棄:

P501 内容物／容器は、国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

繰り返しの曝露により、皮膚の乾燥またはひび割れを引き起こすことがある。有害：飲み込むと肺を損傷する恐れがある。

化学物質・混合物の区別 : 化学物質

化学名又は一般名	CAS番号	分類	含有量 (% w/w)
Undecan-1-ol	112-42-5	Eye Irrit. 2A; H319 Asp. Tox. 2; H305 Aquatic Acute1; H400 Aquatic Chronic2; H411	≤ 100

省略記号の説明はセクション 16 を参照する。

一般的アドバイス	： 通常条件での使用の場合、健康上有害であると思われる。
吸入した場合	： 通常の使用条件下では治療は必要ありません。 症状が続く場合は、医師に相談すること。
皮膚に付着した場合	： 汚染した衣服を脱がせる。直ちに大量の流水で15分以上皮膚を洗い流し、可能であれば、その後石鹸と水で洗浄する。赤み、はれ、痛みおよび/または水ぶくれが発 生した場合は、最寄りの医療施設に搬送して治療を受けさせること。
眼に入った場合	： 直ちに、眼を十分な流水で、勢いよく洗い流す。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 追加治療の場合、最寄りの医療機関へ輸送します。
飲み込んだ場合	： 飲み込んだ量が多くなければ、一般には治療不要であるが、医師の診察を受け ること。

NEODOL 1

版番号 7.2

改訂日 2024. 10. 21

印刷日 2024. 10. 28

- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 通常の使用条件下では、吸入の危険性があるとは考え難い。
考えられる呼吸刺激の兆候や症状には、一時的な鼻や喉の灼熱感、咳、呼吸困難などが含まれることがあります。
- 皮膚炎の兆候および症状には灼熱感、赤み、腫れなどがある。
- 眼刺激の兆候や症状には、灼熱感、発赤、腫れ、および／またはかすみ目などがあります。
- 通常の使用条件下では特別な危険性はない。
摂取すると、吐き気、嘔吐、または下痢が生じる恐れがあります。
- 脱脂している皮膚炎の兆候および症状には、灼熱感 および／または乾燥、ひび割れの外観が含まれる。
- 応急措置をする者の保護 : 救急処置を行う場合は、事故や怪我、周囲の環境に応じて個人用保護具を必ず着用してください。
- 医師に対する特別な注意事項 : 直ちに医師の診察、特別な治療を受けること。
医師または毒物管理センターに電話し、指示を求めてください。
対処療法を行うこと。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 耐アルコール性泡消火剤、散水または噴霧。小規模な火事にだけ、ドライ粉末消火薬剤、二酸化炭素、砂または土の使用可。
- 使ってはならない消火剤 : ジェット水を使用しないこと。
- 特有の危険有害性 : 不完全燃焼が起こると、一酸化炭素が発生しうる。
水面に浮かび、再引火することがある。
蒸気は空気よりも重く、地面に沿って広がり、離れた場所で引火する可能性がある。
- 特有の消火方法 : 化学物質の火災に対する標準の手順。
関係者以外を火災区域から退去させる。
水を噴霧して隣接の容器を冷却し続けること。
- 消火を行う者の保護 : 化学的耐性のある手袋などの適切な保護具を着用し、物質の流出による広範囲に及ぶ接触が予想される場合には化学的耐

性のある衣服も着用してください。密閉空間で火気に接近する際は、自給式呼吸器を着用してください。関連基準（欧州の場合：EN469）に基づいて承認された消防服を選択してください。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護
具及び緊急時措置

関連する国内及び国際法規を遵守すること。
一般市民または環境への曝露が起こるか、或いは起こりそうな場合は、行政関係機関に通知する。
流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。

： 流出した物質や放出した物質には触れないでください。汚染した衣類は直ちに脱がせてください。個人用保護具の選択について詳しくは、本製品安全データシートの第8章を参照してください。流出物の処理方法について詳しくは、本製品安全データシートの第13章を参照してください。
風上にとどまり、低い場所に入らない。
火災または曝露のための準備をする。

環境に対する注意事項

： 砂、土、または他の適切な障壁を用いて、拡散、または下水管、排水溝または河川への拡散・流入を防ぐ。
環境汚染を避けるために適切な封じ込めを使用する。
汚染領域を完全に換気する。

封じ込め及び浄化の方法及び
機材

： 液体の流出量が多い場合は（ドラム缶2缶以上）、バキュームカーなど機械的な手段で再利用タンクに運搬して、回収または安全な廃棄を行うこと。残留物を水で洗い流さないこと。そのまま汚水として扱うこと。残留物は蒸発させるか、適切な吸収剤に吸収させ、安全に処分すること。汚染した土壌は除去し、安全に処分すること。
液体の流出量が少ない場合は（ドラム缶1缶未満）、回収または安全な廃棄を行うため、ラベルを貼付した密閉式の製品コンテナへ機械的な手段で運搬して、回収または安全な廃棄を行うこと。残留物は蒸発させるか、適切な吸収剤に吸収させ、安全に処分すること。汚染した土壌は除去し、安全に処分すること。

追加アドバイス

： 保護具の選択についての指針は、この製品安全データシート（SDS）の第8項を参照すること
漏洩物質の廃棄に関するガイダンスについては、このSDSの第13項を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- ： 蒸気の吸入や物質との接触を避けること。換気が十分になされている場所でのみ使用すること。取り扱い後は十分に手洗いすること。保護具の選択についての指針は、この製品安全データシート（SDS）の8章を参照すること。
- この物質の安全な取り扱い、保管および廃棄を適切に行うための管理方法を決定する際、支援材料として現地環境のリスク評価へ入力するデータとして、このデータシートの情報を利用する。
- 取り扱い並びに貯蔵施設に関して地域の全規制に準拠していることを確認する。

安全取扱注意事項

- ： 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。
- 下水管に流さないこと。
- 圧力が急に上昇する危険性がある

顔面の保護具

- ： 飛沫よけゴーグル（薬品用の一体型ゴーグル）を着用する。液体飛沫が想定される場合は、顔全体を覆うシールドを着用してください。

衛生対策

- ： 食事、飲用、喫煙、トイレ使用前に手を洗う。
- 再使用の前に、汚染された衣類を洗濯すること。

接触回避などを記載する

- ： 銅
- 銅合金。
- 強酸化剤。
- アルミニウム

製品輸送

- ： 使用しないときは容器を密閉しておく。充填、排出、または操作のために圧縮空気を使用しない。

保管

安全な保管条件

- ： 本製品の包装・保管に関する特定の法律の詳細は、15 項を参照してください。

その他のデータ

- ： 大量貯蔵容器は防油堤で囲むべきである。
- タンクの蒸気を大気に放出してはならない。貯蔵中の大気中への放出は、適切な蒸気処理システムによって管理されるべきである。
- 大きな槽（容量100m³以上）には窒素シールを推奨する。
- 断熱（外被材で覆う）は、低温環境下で熱損失を最少にする。
- 周囲条件によって製品の凝固点／流動点より低い温度で取り扱う場所では、タンクに加熱コイルを装着すること。

NEODOL 1

版番号 7.2

改訂日 2024. 10. 21

印刷日 2024. 10. 28

安全な容器包装材料	: 適した材質: ステンレススチール, エポキシ樹脂, ポリエステル。 適さない材質: アルミニウム, 銅, 銅合金。
容器に関する注意	: 容器は、空であっても、爆発性気体を含有する可能性がある。容器の上或いは近くで、切断したり、穴をあけたり、こすったり、溶接したり、同様な作業をしない。
特定の利用法	: 非該当 取り扱い並びに貯蔵施設に関して地域の全規制に準拠していることを確認する。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

生物学的職業暴露限度

生物学的限度は指定されていない。

監視方法

職業暴露限度の遵守と曝露制御の妥当性を図るためには、作業者が呼吸する場所や一般的な職場の物質濃度をモニタリングする必要があると考えられる。一部の物質については、生物学的なモニタリングが適している場合もある。

検証済みの暴露測定方法は資格を有する人物が実施し、またサンプルの分析は認定を受けた研究所で行う必要があります。

推奨するエアモニタリング法の情報源の例としては、下記に示されている。または製造元に連絡する。さらに国内規定の方法を利用する。

National Institute of Occupational Safety and Health (NIOSH), USA: Manual of Analytical Methods <http://www.cdc.gov/niosh/>

Occupational Safety and Health Administration (OSHA), USA: Sampling and Analytical Methods <http://www.osha.gov/>

Health and Safety Executive (HSE), UK: Methods for the Determination of Hazardous Substances <http://www.hse.gov.uk/>

Institut für Arbeitsschutz Deutschen Gesetzlichen Unfallversicherung (IFA), Germany. <http://www.dguv.de/inhalt/index.jsp>

L'Institut National de Recherche et de Sécurité, (INRS), France <http://www.inrs.fr/accueil>

労働者の健康障害を防止するため化学物質の濃度基準値とその適用方法などを定めました (mhlw.go.jp)

設備対策	: 適切な換気を行って、作業環境濃度を暴露指針/限界より抑えること。
------	------------------------------------

NEODOL 1

版番号 7.2

改訂日 2024. 10. 21

印刷日 2024. 10. 28

製品を加熱するか、噴霧するか、または霧生成させる場合、空气中濃度を上昇させる潜在性が高い。

緊急時用の洗眼器およびシャワー

必要な保護レベルと管理のタイプは、潜在的な曝露条件によって異なる。現地環境のリスク評価に基づいて管理方法を選択する。適切な方法には、以下のものがある。

一般情報：

素材の取扱い後や飲食・喫煙の前に手を洗うなど、常に身の回りの正しい衛生措置を実行するようにしてください。汚染物質を除去するため、作業衣や保護具は定期的に洗浄します。汚染され、かつ洗浄が不可能な衣類や履物は廃棄してください。適切な清掃管理を行ってください。

安全な取り扱いや制御装置のメンテナンスの手順を明確に定めてください。

本製品を用いた通常業務に伴う危険性とその管理手順について、作業員に対する教育およびトレーニングを実施してください。

暴露管理に用いる装置（個人用保護具や局所排気装置）が適切なものであるか、またこれらに対し適切なテストやメンテナンスが行われているか確認してください。

システムの慣らし運転や保守の前には、システムからすべての液体を排出させてください。

システムを液体を排出した状態に保ち、排出した液体はリサイクルあるいは廃棄まで密封できる保管容器に入れてください。

飲み込まないこと。飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

保護具

保護対策

保護具（PPE）は、推奨される国家規格を満たさなければならない。保護具（PPE）供給業者に問い合わせること。

呼吸用保護具

： 技術管理により作業環境濃度が作業員の健康を保護するのに十分なレベルで維持されていない場合、特定の使用条件に適合し、且つ関連する法規を満たすのに適した呼吸用保護具を選定すること。

呼吸用保護具提供者に問い合わせる。

空気フィルタ付呼吸器が適さない場合（例えば、作業環境濃度が高い、酸素欠乏の危険性、閉鎖空間）、適切な陽圧呼吸器を使用する。

空気フィルタ付呼吸器が適している場合、適切なマスクとフィルタの組み合わせを選ぶ。

エアフィルタ呼吸用マスクが、使用条件に適切である場合：

有機ガス、蒸気および粒子の結合に適したフィルタを選択

NEODOL 1

版番号 7.2

改訂日 2024. 10. 21

印刷日 2024. 10. 28

してください [タイプA /タイプPの沸点> 65° C (149° F)]。

手の保護具 備考

： 製品に手を触れる可能性がある場合、関連する基準（たとえば欧州のEN374、 米国のF739）で承認された、以下の素材で作られた手袋を使用することにより、適切な化学防護ができる。 より長期間の保護： ニトリルゴム手袋。 偶発的な接触/飛沫防止： P V Cまたはネオプレンゴム手袋。 連続的に接触する場合は、破過時間が240分以上の手袋を着用してください。（破過時間が480分以上の手袋がある場合は、そちらを着用してください）。短時間/飛沫の保護に使用する場合も、上記の手袋を着用してください。ただし、この保護レベルを備えた手袋は入手できない可能性があるため、その場合は、適切なメンテナンスと交換が行われていれば、破過時間の短い手袋で代替することが可能です。手袋の耐薬品性は、素材の組成によるため、手袋の厚みから耐性の有無を的確に判断することはできません。手袋の厚みは、メーカーやモデルによって異なりますが、通常 0.35 mm 以上 のものを着用してください。手袋の適合性および耐久性は、接触の頻度や期間、手袋の素材の耐薬品性、手袋の厚さ、使用者の器用さなどの利用状況により異なる。常に手袋販売業者の意見を求めること。汚染された手袋は交換すること。個人的衛生を維持することは、手の効果的なケアに重要な要素です。手袋は清潔な手に着用してください。手袋を使用したあとは、手は、洗浄して完全に乾燥させる必要があります。芳香剤を加えていないモイスチャライザーを使用することを推奨します。

眼、顔面の保護具

： 飛沫よけゴーグル（薬品用の一体型ゴーグル）を着用する。液体飛沫が想定される場合は、顔全体を覆うシールドを着用してください。

皮膚及び身体の保護具

： 通常の場合で使用する場合は、皮膚の保護は不要です。長時間または繰り返し物質に曝露される場合は、曝露される体の部分を防水性の衣類で覆ってください。物質への反復および/または長期皮膚曝露の可能性が高い場合は、EN374 基準 準拠試験済みの適切な手袋を着用し、皮膚の保護に関する従業員向けプログラムを提供すること。

高熱の危険性

： 非該当

衛生対策

： 食事、飲用、喫煙、トイレ使用前に手を洗う。
再使用前に、汚染された衣類を洗濯すること。

環境における排出管理

一般的アドバイス

： 蒸発物質を含む排気への放出に関しては、揮発性物質

NEODOL 1

版番号 7.2

改訂日 2024. 10. 21

印刷日 2024. 10. 28

の排出規制に関する国内指針を遵守しなければならない。
環境中への放出を最小限にしてください。地域の環境規制を
確実に遵守するため、環境アセスメントを実施する必要があります。
偶発的放出に対する措置については、6項を参照してください。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 20 °C で液体

色 : 無色

臭い : マイルド臭

臭いのしきい(閾)値 : データ入手不可能。

pH : データ入手不可能。

融点/凝固点 : データ入手不可能。

流動点 : 11 ° C / 52 ° F

沸点/沸騰範囲 : 245 ° C / 473 ° F

引火点 : 121 ° C / 250 ° F

蒸発速度 : データ入手不可能。

可燃性

可燃性 (固体、気体) : 非該当

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発範囲の上限 : データ入手不可能。

爆発範囲の下限 : データ入手不可能。

蒸気圧 : 0.4 Pa

相対ガス密度 : 4.5

密度及び/又は相対密度

比重 : 0.831 (25 ° C / 77 ° F)
方法: ASTM D4052

密度 : 830 kg/m³ (20 ° C / 68 ° F)
方法: ASTM D4052

溶解度

安全データシート

NEODOL 1

版番号 7.2

改訂日 2024. 10. 21

印刷日 2024. 10. 28

水溶性 : 19.1 mg/l (25 ° C / 77 ° F)

n-オクタノール／水分配係数 (log 値) : log Pow: 4. 72

自然発火点 : データ入手不可能。

分解温度 : データ入手不可能。

粘度

粘性率 (粘度) : 代表値 17 mPa, s (20 ° C / 68 ° F)
方法: ASTM D445

粘性率 (粘度) 50 mPa, s (非該当 /)
方法: ASTM D445

動粘性率 (動粘度) : 11.0 mm²/s (40 ° C / 104 ° F)
方法: ASTM D445

18 mm²/s (25 ° C / 77 ° F)
方法: ASTM D445

粒子特性
粒子サイズ

: データ入手不可能。

爆発特性 : 区分外

酸化特性 : データ入手不可能。

表面張力 : データ入手不可能。

導電度 : 導電率: > 10 000 pS/m

液体の温度や汚染物質の存在、帯電防止剤といった多数の要因が液体の電導性を大きく左右する。、この素材は、静電気を蓄積しやすい性質ではないと考えられます。

分子量 : 172 - 173 g/mol

10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常の周囲室温および圧力では安定。、空気に触れると酸化する可能性があります。

NEODOL 1

版番号 7.2

改訂日 2024. 10. 21

印刷日 2024. 10. 28

化学的安定性	: 製品は化学的に安定である。通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: 知見なし。
避けるべき条件	: 極端な温度と直射日光。
混触危険物質	: 銅 銅合金。 強酸化剤。 アルミニウム
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件下では懸念されるものはない。

11. 有害性情報

評価基準	: 情報は、製品試験および／または同種の製品および／または構成成分を基準としている。 特に記述がない限り、データは本製品に関する包括的なものであり、個々の成分に関するものではない。
可能性のある暴露経路の情報	: 曝露は、吸入、飲み込み摂取、皮膚からの吸収、皮膚または眼の接触、思わぬ誤飲を介して起こり得る。

急性毒性

成分:

Undecan-1-ol:

急性毒性（経口） : LD50 ラット: > 5000 mg/kg
備考: 低毒性

急性毒性（吸入） : 備考: 低毒性
入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

急性毒性（経皮） : LD50 ウサギ: > 5000 mg/kg
備考: 低毒性

皮膚腐食性／刺激性

成分:

Undecan-1-ol:

備考: 軽度の皮膚刺激が生じる。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

成分:

NEODOL 1

版番号 7.2

改訂日 2024. 10. 21

印刷日 2024. 10. 28

Undecan-1-ol:

備考: 強い眼刺激。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

成分:

Undecan-1-ol:

備考: 増感剤ではない。
入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。

生殖細胞変異原性

成分:

Undecan-1-ol:

: 備考: 変異原性の兆候はない。

発がん性

成分:

Undecan-1-ol:

備考: 発癌性物質ではない。 , 入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。

材質	GHS/CLP 発がん性 分類
Undecan-1-ol	発癌性の分類なし

生殖毒性

成分:

Undecan-1-ol:

: 備考: 発生毒物ではない。 , 入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。 , 生殖機能を損なわない。

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

成分:

Undecan-1-ol:

備考: 入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

成分:

Undecan-1-ol:

NEODOL 1

版番号 7.2

改訂日 2024. 10. 21

印刷日 2024. 10. 28

備考: 入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。

誤えん有害性

成分:

Undecan-1-ol:

飲み込んだり嘔吐した時に肺への吸引により、致命的な化学物質起因の肺炎を引き起こすことがある。

詳細情報

成分:

Undecan-1-ol:

備考: 各種規制の枠組みに応じた他の機関による分類が存在する可能性がある。

12. 環境影響情報

評価基準

: 情報は、製品試験および／または同種の製品および／または構成成分を基準としている。
特に記述がない限り、データは本製品に関する包括的なものであり、個々の成分に関するものではない。

生態毒性

成分:

Undecan-1-ol:

魚毒性 (急性毒性) : 備考: LC/EC/IC50 >1 - <=10 mg/l
毒性あり

甲殻類への毒性 (急性毒性) : 備考: 毒性が強い。
LC/EC/IC50 < 1 mg/l

藻/水生植物への毒性 (急性毒性) : 備考: LC/EC/IC50 >1 - <=10 mg/l
毒性あり

M-ファクター (水生環境有害性 短期 (急性)) : 1

微生物への毒性 (急性毒性) : 備考: LC/EC/IC50 > 100 mg/l
実質的に毒性はない:
入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。

魚毒性 (慢性毒性) : 備考: データ入手不可能。

甲殻類への毒性 (慢性毒性) : 備考: NOEC/NOEL > 0.01 - <=0.1 mg/l

NEODOL 1

版番号 7.2

改訂日 2024. 10. 21

印刷日 2024. 10. 28

残留性・分解性

成分:

Undecan-1-ol :

生分解性

: 備考: すぐに生分解する。
空気中の光化学反応により迅速に酸化する。

生態蓄積性

製品:

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 4. 72
(log 値)

成分:

Undecan-1-ol :

生体蓄積性

: 備考: 代謝並びに排泄されるため蓄積は起こり難い。

土壤中の移動性

成分:

Undecan-1-ol :

移動性

: 備考: 水に浮かぶ。 , 製品が土壌に入ると、移動性が高く、地下水を汚染す可能性がある。

他の有害影響

データなし

オゾン層への有害性

非該当

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

化学品（残余廃棄物）

: 出来れば、再生利用または再使用すること。
廃棄物排出者には、適用される規則に従い適切に廃棄物を分類し処分する方法を用いているかどうかを判断するため、生成された物質の毒性と物質特性を判断する責任がある。
環境、下水管または水路へ廃棄しないこと。
廃棄物により土壌や水質を汚染してはならない。

廃棄処分は、地域、国、地方の適切な法律及び条例に従うべきである。
現地の条例は、地域又は国の必要条件よりも厳しいこともあり、遵守しなければならない。

汚染容器及び包装

: 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
内容物を除去後は、火気を避け安全な場所で通風すること。
残留物は爆発の危険を生かることがある。

NEODOL 1

版番号 7.2

改訂日 2024. 10. 21

印刷日 2024. 10. 28

未洗浄のドラムに穴をあけたり、切断したり、溶接しない。
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に沿って適切な処分を行うこと。

現行規定に従って廃棄する。公認の廃棄物収集業者または契約業者に引き渡すのが望ましい。廃棄物収集業者または契約業者は、資格を持つことを事前に証明しなければならない。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

国の特定の法規制は、項目15を参照する。

国際規制

ADR

国連番号 : 3082
品名 (国連輸送名) : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S.
(Undecan-1-ol)
国連分類 (輸送における危険有害性クラス) : 9
容器等級 : III
ラベル : 9
危険番号 : 90
環境有害性 : 該当

IATA-DGR

UN/ID 番号 : UN 3082
品名 (国連輸送名) : Environmentally hazardous substances, liquid, n. o. s.
(Undecan-1-ol)
国連分類 (輸送における危険有害性クラス) : 9
容器等級 : III
ラベル : 9

IMDG-Code

国連番号 : UN 3082
品名 (国連輸送名) : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S.
(Undecan-1-ol)
国連分類 (輸送における危険有害性クラス) : 9
容器等級 : III
ラベル : 9
海洋汚染物質 : 該当

IMO機器に従って一括で海上輸送

NEODOL 1

版番号 7.2

改訂日 2024. 10. 21

印刷日 2024. 10. 28

汚染力カテゴリ

: X

船種

: 2

製品名

: Undecyl alcohol

特別の安全対策

備考

: 特別な注意事項：使用者が知っておくべき特別な注意事項や、輸送に関して法令順守が必要な事項については、第 7 項の取扱及び保管上の注意を参照のこと。

追加情報

: 本製品は、窒素ブランケットにより輸送することができる。窒素は無臭で透明な気体である。窒素が富裕な大気の暴露は、酸素の供給を排除し、窒息または死の原因になることがある。限定空間に入る人は、安全措置を厳重に守らなければならない。
マルポール条約の附属書IIおよびIBCコードに従った大量輸送

15. 適用法令

関連法規

消防法

第四類, 第三石油類

化審法

優先評価化学物質

化学名	番号
アルカノール（C＝10～16）（C＝11～14 のいずれかを含むものに限る。）	171

労働安全衛生法

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	番号	含有量 (%)
アルカノール（C＝10～16）（C＝11～14 のいずれかを含むものに限る。）	127	90 - 100

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条（施行令第 18 条）

化学名	番号
アルカノール（C＝10～16）（C＝11～14 のいずれかを含むものに限る。）	127

特定化学物質障害予防規則

非該当

NEODOL 1

版番号 7.2

改訂日 2024. 10. 21

印刷日 2024. 10. 28

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

船舶安全法

危規則第 2, 3 条危険物告示別表第 1: 有害性物質

高圧ガス保安法

非該当

航空法

施行規則第 194 条危険物告示別表第 1: その他の有害物

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 海洋汚染物質(X 類)

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報 :

DSL	: 収載
IECSC	: 収載
ENCS	: 収載
KECI	: 収載
NZIoC	: 収載
PICCS	: 収載
TSCA	: 収載
TCSI	: 収載

16. その他の情報

危険有害性情報の全文

H305	飲み込んで気道に侵入すると有害のおそれ。
H319	強い眼刺激。
H400	水生生物に非常に強い毒性。
H411	長期継続的影響によって水生生物に毒性。

その他の略語の全文

NEODOL 1

版番号 7.2

改訂日 2024. 10. 21

印刷日 2024. 10. 28

Aquatic Acute	水生環境有害性 短期（急性）
Aquatic Chronic	水生環境有害性 長期（慢性）
Asp. Tox.	誤えん有害性
Eye Irrit.	眼刺激性

略語および頭字語

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト（カナダ）; ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法（日本）; ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量（半数致死量）; MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性（物質）; PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q) SAR - （定量的）構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録（REACH）に関する規則（EC）No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法（米国）; UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

詳細情報

安全な取扱いのため : 本情報は安全確保のため参考情報として取扱事業者には提供されるものです。取扱事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

その他の情報 : 左欄外の垂直バー（|）は、前バージョンの修正を示す

引用文献 : 引用データは、Shell Health Servicesの毒性データ、材料サプライヤーのデータ、CONCAWE、EU IUCLIDデータベース、EC 1272規制など、複数の情報源から得られたものです。

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータ

安全データシート

NEODOL 1

版番号 7.2

改訂日 2024. 10. 21

印刷日 2024. 10. 28

はここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA